

第3学年 人間としての在り方生き方に関する教育 学習指導案

埼玉県立杉戸農業高等学校

指導者 教諭 高橋 直己

1 主題名

主題：生命尊重 副題：家族愛

関連内容項目：公德心、相互理解

2 ねらいと資料

ねらい：生命の尊さの本質を考え、自他の生命を尊重する態度を身につける。

資料：映像資料 「いのちの判断」 NHK「道徳ドキュメント ～キミならどうする～」より

3 主題設定の理由

(1) ねらいについて

生命がかけがえのないものであることは誰もが頭では理解している。しかし、生命力にあふれた高校生にとっては、本当の意味での生命の尊さを感じることは難しい。臓器移植や IPS 細胞などの医療技術の発展により、これまで救えなかった生命が救える時代となりつつある現代だからこそ、改めて命に限りがあることを考える必要がある。

また、自分の命、家族の命、見知らぬ誰かの命の関わりを考え、自分も誰かによって生かされていること、命が連続するものであることを実感し、それを通して家族や社会の在り方を考えてほしい。

(2) 生徒の実態について

(略)

(3) 資料について

概要

永吉さん夫妻の長男で 24 歳の医学生 洋介さんが事故に合い脳死状態となる。両親は奇跡の回復を信じて最後まで見守りたいが、洋介さんは脳死での臓器提供の意思を示す臓器提供意思表示カードを持っていた。回復を期待する気持ち、脳死を死と認めたくない気持ちと本人の臓器提供の意思の間で葛藤しながら、夫妻は洋介さんの意思を尊重し臓器提供をする決断をした。夫妻はそのとき下した決断を 13 年たった今でも自らに問い続けながら、脳死臓器移植に関する活動をしている。(約 15 分)

資料を用いてどのようにねらいに迫るか

脳死状態での臓器移植は、ある一人の生命が果てるときに他の誰かの生命を救うことが出来る素晴らしい医療技術である。その一方で、脳死を個人の死と認めるかという判断を緊急時の家族に迫るという極めて難しい問題をはらんでいる。また、たとえ脳死状態であっても、家族の体に回復目的以外でメスを入れることを躊躇うのは多くのひとの自然な感情である。本人の意思表示があつたとしても提供を決断するのが難しいことはすべての生徒が共感するだろう。臓器を提供し他者の生命を助けようとするこことかけがえのない家族の命を最後まで応援し見守ること、家族の生命のつながりと臓器移植という形で生命のつながり、家族を守り大切に思う気持ちと本人の意志の尊重という多くの葛藤を含むこの資料を用いて、生命尊重という価値について多面的・多角的に考えることで、価値の自覚を深めさせたい。

この資料を通して、下図のように道徳的問題である「脳死臓器移植」を通して、道徳的価値である「生命尊重」と「家族愛」についての多面的・多角的に思考することで、価値の自覚を深めてほしい。

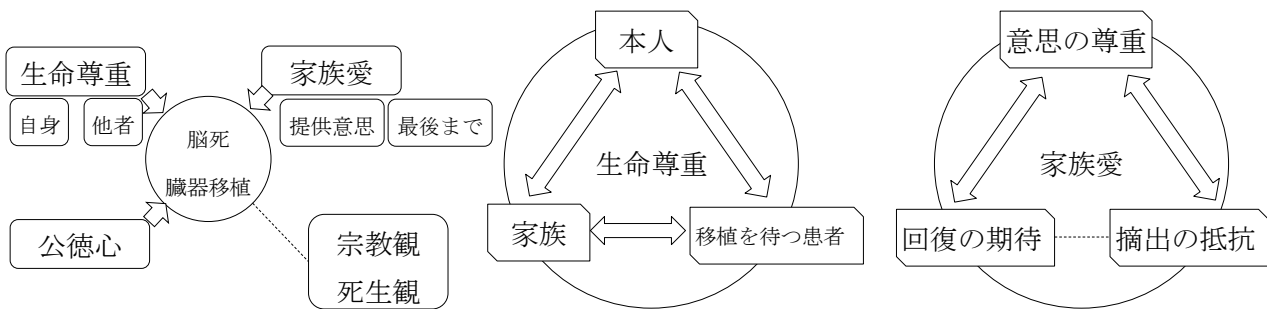


図 本時における多面的・多角的思考のイメージ

なお、本時の指導では「家族の臓器提供を承諾しますか？」や「あなたは臓器提供を希望しますか？」といった個人の内面にかかわる発問は避け、必要に応じて事前のアンケートやワークシートへの記入という形にしてプライバシーに配慮する。

資料分析

主題	生命尊重	副題	家族愛	関連項目	公徳心, 相互理解
資料名	いのちの判断			出典	NHK 道徳ドキュメント
ねらい	命の尊重とつながり、家族愛について考えるとともに、他者の立場や意見を尊重する態度を身につける。				
場面	中心人物の心の動き	道徳的問題と葛藤	予想される生徒の心の動き		
1 臓器移植とは(解説) 臓器移植の意味などの解説			○臓器移植という言葉は知っているが、あくまで他人事で深く考えていない生徒が多い。		
2 長男の事故と臓器提供の意志 永吉さん夫妻の長男で医学生の方介さんが脳死状態に。方介さんは臓器提供の意思があった。	○方介さんの身に起こったことを認めたくない。 ○どうして自分の子どもがこんなことに。 ○何とか回復してほしい。		○回復を信じたい両親に共感する。 ○まだ死んでしまうかはわからない。 ○知らない人に臓器を提供するなんてすごい。		
3 二つの死(解説) 臓器提供意思表示カードと“脳死”と“心停止の死”の違い、臓器移植の仕組みについての解説			○ドナーカードを知らなかった or 持っている。 ○脳死は人の死なのだろうか？ ○死のことなんて考えたくない。		

4 両親の葛藤と臓器移植の決断 回復を信じていたい気持ちと本人の意思の間で葛藤する両親。話し合いの末、臓器提供を申し出る。	○意思表示カードの意志は本当か。 ○まだ死んでいない。 ○たとえ死ぬにしても体を傷つけるなんて。 ○息子の意志を尊重しなくては。	息子の死を認めたくない。 ↓ 息子の臓器提供の意志を尊重したい。	○決断した両親はすごい。 ○普段ちゃんと話し合っておけばよかったのに。 ○心臓が動いているのに死を認めるなんて。 ○なぜ決断したんだろう？
5 臓器移植と向き合って 洋介さんの死から13年経ち、臓器移植と向き合い、移植に関する活動をする父親の思いとは。	○13年前の決断は正しかったのか。 ○同じ苦しみを抱えている人がいるはず。 ○あのとき、移植を認めなければ。	臓器提供してよかった。 ↓ 提供しなければ…。	○臓器提供と向き合うのに13年もかかるなんて。 ○つらい経験を活かしてすごい。

4 学習指導過程

	主な学習活動	生徒の心の動き	留意点
導入 3分	T：この時間は脳死臓器移植をテーマに「命を尊重すること」について考えます。		
	脳死臓器移植についての知識の確認	○脳死ってなんだろう？ ○臓器提供なんてありえない。	・直感的に考えてもらう。
展開 1 25分	・脳死臓器移植について、様々な知識を学ぶ。 ・映像資料を視聴する。 (15分) ・臓器移植の歴史や諸外国の現状の確認	○脳死と植物状態の区別がついていなかった。 ○極限状態で決断するなんてできない。 ○意思表示カードの存在を知らなかった。 ○心臓が動いているのに諦めるなんて。 ○提供してもしなくても後悔するのはつらい。 ○提供の意思を表示した洋介さんはすごい。承諾した両親もすごい。 ○医学部生だからかな？自分にはできない。 ○日本がこんなに移植が少ないなんて意外だ。 ○日本でも移植が増えたほうがいいのはわかるけど。	・知識を確認しながら進めていく。
	T：脳死状態の人に臓器提供の意思表示があった時、家族が臓器提供を認めるのと認めないのとでは、あなたはどちらの意見を支持しますか？数直線上に示してください。		

展開 2 18 分	T：脳死状態の人に臓器提供の意思表示があった時、その家族が臓器提供を認める場合と認めない場合、それぞれの決断の理由とよい点、よくない点を考えてみよう。 このあと、考えたことをグループで発表し合ってもらいます。		
	・奇数番号の生徒は、認める側、偶数番号は認めない側の立場で考える。(3分) ・その後、グループになり自分の立場と意見を発表する。(15分)	認める場合 理由、よい点 ○移植を待つ人を助けられる。 ○本人の意思を尊重できる。 ○どこかで一部が生き続けられる。 よくない点 ○家族の死を決めなくてはいけない。 (可能性が0になる。決断したくない。) ○体をさらに傷つけてしまう。 ○「ひょっとしたら助かったかも」と後悔するかも。 認めない場合 理由、よい点 ○奇跡が起きるかも。知らない誰かの命より家族の命が大事。 ○これ以上体を傷つけずに済む。 ○愛する家族と少しでも長く。 ○家族の生き死には決められない。 ○ほかの誰かが提供すれば…。 よくない点 ○本人の意思と違うことになる。 ○誰の命も救えない。	
終末 4 分	T：今日の映像の視聴と話し合いを経て「命を尊重すること」について考えたこと、新たに発見したこと、感想などを自由に書いてみよう。		

5 指導に対する評価

- 映像視聴、話し合いの前後での判断の理由の変化から、生命尊重に関する価値の自覚を深める展開が出来たかを評価する。
- 話し合いの様子やワークシートから、価値に関する思考や判断を深める展開ができたかを評価する。
- 授業後に授業に関するアンケートを実施し、授業全体の構成、資料の選択などを評価する。

＜ワークシート＞

在り方生き方学習 「命」について考える ワークシート

年 組 番 氏名

- ◇ 脳死状態の人に臓器提供の意思表示があった時、家族が臓器提供を認めるのと認めないのとでは、あなたはどちらの意見を支持しますか？数直線上に示してください。

認める |-----| 認めない

- ☆ 家族の臓器提供を認める・認めない場合の理由とよい点，よくない点を考えてみよう。
※出席番号が奇数の生徒は認める側，偶数の生徒は認めない側の立場を考えよう。

自分の担当する立場（ ）

理由, よい点	よくない点
○	○
○	○
○	○

- ◇ グループで発表しあって、他の人の意見をメモしよう。自分では思いつかなかった意見で、○賛同できる意見と●賛同できない意見、△その他の意見をメモしよう。

	理由, よい点	よくない点
認める	○ ● △	○ ● △
認めない	○ ● △	○ ● △

- ◇ 今日の映像の視聴と話し合いを通して「命を尊重すること」について考えたこと、新たに発見したこと、感想などを自由に書いてみよう。

発表・意見交換のやり方

発表の順番 例：1～5番のグループなら

- ① 認める側 1番→3番→5番
- ② 認めない側 2番→4番
- ③ 認める側 5番→3番→1番
- ④ 認めない側 4番→2番

1回の順番で、理由とよい点、よくない点を一つずつ挙げてください。

話合いのルール 語り合える仲間になろう！

- ✓ 他の人と同じ意見でも発言してよい。（異なる意見があればぜひそれを言ってください！）
- ✓ ひとを傷つける発言はしない。
- ✓ 相手の発言に対して笑わない。
- ✓ 他人の発言をしっかりと聴く。あいづちを打とう。「いいね/なるほど/うんうん/そうだね」
- ✓ 気になること・わからないことは必ず質問をする。
- ✓ ワークシートに書いてなくても、その場で思いついたことや違う立場の人の意見を聞いて考えたことも発言してよい。
- ✓ 賛同できる意見，できない意見，その他（理解できない意見，判断できない意見など）をメモしよう。